

Rapport

Contents

2014年度 地域プロジェクト発表祭	P.02
.....	
SRC2014 冬 発表一覧	P.03
.....	
ゼミ活動表彰	P.04
.....	
2014年度春学期 成績優秀学生賞 表彰者 フットサル部 東京都大学1部リーグ 優勝	P.05
.....	
キャリアサポート 経営情報学部 後援会 就職セミナー 報告	P.06
.....	
経営情報学部 海外留学制度 News	P.07
.....	
多摩大学創立 25 周年記念事業	P.08



フットサル部
東京都大学リーグ 1部リーグ 優勝!

2014 年度 地域プロジェクト発表祭

2014年12月13日、多摩キャンパス101教室と201教室にて、多摩大学地域活性化マネジメントセンターが推進する「プロジェクト型地域学習」の2014年度成果発表会が開催されました。37プロジェクトに加えて、招待発表として帝塚山大学（包括協定大学・奈良県）と東京経済大学がそれぞれ2プロジェクト、多摩市立諏訪小学校児童による発表がありました。会場にはプロジェクトにご協力いただいた行政、企業、NPO、地域の方々も出席され、発表に関する質疑応答も活発に行われました。

101 教室		201 教室	
テーマ	発表者	テーマ	発表者
第 1 部			
葉加瀬太郎チャリティーコンサート報告	樋口裕一ゼミ	志企業の会社案内プロジェクト [連携先] 多摩信用金庫、株式会社弘久社	梅澤佳子ゼミ・石川晴子ゼミ・奥山雅之ゼミ・酒井麻衣子ゼミ・志賀敏宏ゼミ・中村その子ゼミ・久恒啓一ゼミ
世代を繋げるみんなの食卓プロジェクト —健康なまちづくりを目指して [連携先] 聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会、多摩市青少年問題協議会連光寺・聖ヶ丘地区委員会 [協力] 多摩市立聖ヶ丘小学校、連光寺小学校、連光寺児童館	梅澤佳子ゼミ		
コミュニティカフェ「タマラボ」を通じた諏訪名店街での仮説検証プロジェクト [連携先] 株式会社たまらぼ（諏訪名店街内）	浜田健史プロジェクトゼミ	地域中小企業社史製作プロジェクト [連携先] 株式会社 Y 社	奥山雅之ゼミ
多摩市立諏訪小学校放課後子ども教室 「英語であそぼう！」 [連携先] 多摩市役所、多摩市立諏訪小学校	石川晴子ゼミ	2040年多摩の展望 ～50年に一度の交通革命をこえて～ [連携先] 相模原市、相模原商工会議所	インターゼミ 多摩学班 (担当教員：荻野・奥山)
多摩市立諏訪小学校と地域の連携づくり [連携先] 多摩市立諏訪小学校、多摩市教育委員会、多摩市立永山公民館、新都市センター開発株式会社、多摩市青少年問題協議会諏訪地区委員会 [協力] 多摩市諏訪名店街、多摩信用金庫など	梅澤佳子ゼミ	明星大学ボランティアグループとの連合による地域防犯活動 [連携先] 明星大学ボランティアグループ	中村その子ゼミ
招待発表			
感じよう農業 ～喜び、苦勞、人～			諏訪小学校5年生 (関 聡司先生)
第 2 部			
メディア実践論	木村知義プロジェクトゼミ	東京ヴェルディ応援プロジェクト [連携先] 永山商店街、東京ヴェルディ	久恒啓一ゼミ
地域密着型店舗のラジオ CM 制作と関連プロモーション [連携先] FM 西東京、福祉法人時の会	中村その子ゼミ	震災3年後から見る水産都市の地域創生 ～人口減少に伴うスマートシュリンクを目指して～	インターゼミ地域 (震災・環境・エネルギー) 班 (担当教員：出原・木村・中澤・中庭・諸橋)
ハイブリッドメディア研究会 学生活動報告	ハイブリッドメディア研究会	日の出産業振興プロジェクト [連携先] 日の出町、日の出町サービス総合センター、日の出商工会など	奥山雅之ゼミ
みどりを通じて世代を繋ぐ多摩グリーンライフ・プロジェクト [連携先] 多摩市立グリーンライフセンター、多摩市グリーンボランティア連絡会、一本杉公園みどりの会、恵泉女学院大学、恵泉女学院大学学生サークル：恵話会、KEES	梅澤佳子ゼミ	多摩手みやげプロジェクト [連携先] 多摩市役所	久恒啓一ゼミ
京王移動販売プロジェクト [連携先] 京王電鉄株式会社 沿線価値創造部	酒井麻衣子ゼミ	横浜 FC イベント [連携先] 横浜 FC	江頭満正プロジェクトゼミ
招待発表			
障がい者の就労支援とネットワーク			東京経済大学 経営学部 山本 聡ゼミ
世代間交流を長期的に行うシステム			
天下の台所で「くだおれ」～様々な食べ物が食べられる街、大阪～			帝塚山大学 経済学部 (荒木大恵 助教授)
地域と連携して大学生が取り組むネットパトロール			帝塚山大学 経営学部 (日置慎治 経営学部長)
第 3 部			
スポーツゴミ拾いプロジェクト [連携先] 日本スポーツ GOMI 拾い連盟	久恒啓一ゼミ	公共政策研究会の取組	公共政策研究会
近隣交流七輪プロジェクト 2014 [連携先] 多摩市諏訪名店街、聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会、一本杉炭やき倶楽部	梅澤佳子ゼミ	江戸期の日中韓交流 ～朝鮮通信使の外交・文化的意味と現代的意義～	インターゼミ アジ アダイナミズム班 (担当教員：金・小林・バートル)
日本を元気にする IR 和風 IR ～対アジア・関西圏統合型リゾート構想～	インターゼミサービス・エンターテインメント班 (担当教員：市岡・久保田・安田)	企業インタビューによるシティプロモーション提案 —町田市編— [連携先] 町田市	中庭光彦ゼミ
永山駅前まちびらき 40 周年プロジェクト [連携先] グリナード永山会	松本祐一プロジェクト (多摩大総研)	多摩・キャンパスフェスタ [連携先] 多摩市立関戸公民館、多摩市立永山公民館 [協力] 多摩キャンパスフェスタ参加4大学・9団体	梅澤佳子ゼミ
地域ビジネス構想プロジェクト [連携先] 株式会社 MNH、京王電鉄株式会社 沿線価値創造部	奥山雅之ゼミ	BOP ビジネス入門講座	見山謙一郎プロジェクトゼミ
サンリオピューロランドの課題解決プロジェクト [連携先] 株式会社サンリオエンターテインメント	松本祐一プロジェクトゼミ	多摩大学の非公認マスコットキャラクターをつくろう [協力] 有限会社ちょこグループ	梅澤佳子ゼミ



2015年1月10日、多摩キャンパスにてSRC (Student Research Conference) が開催されました。

SRCは、経営情報学部の学生がゼミの研究成果などの発表を行う場で、年2回開かれています。ゼミの枠を超えて教員や学生が多数出席し、質疑応答では熱心な質問やアドバイスがありました。日頃の研究活動について切磋琢磨できる貴重な機会となりました。

〈発表合計〉86件 (ロング発表 5件、ミドル発表 42件、ショート発表 39件) 〈発表時間〉【L】ロング:10分 【M】ミドル:7分 【S】ショート:3分

教室 112			
小形 希	L	プレゼンのプレゼン	バトルゼミ
須田 勇大	M	J-POPの歌詞的分析	諸橋正幸ゼミ
佐々木 晨	M	曲げセンサーを利用した独居高齢者の生活検知システム	出原至道ゼミ
鈴木 拓帆	M	多摩手みやげ班	久恒啓一ゼミ
畔上 聖也	M	緊張	小林英夫ゼミ
岩崎 日向	M	嫌消費研究に対する批判的考察	杉田文章ゼミ
星 瑞穂	M	華流	金 美徳ゼミ
野井 瞭	S	視覚と気分状態に関わるマッチング実験	大森拓哉ゼミ
松山 賢	S	日本大好きプロジェクト ろうそくあかし班	村山貞幸ゼミ
嶋原 康太	S	SNSによるストレスの受け方の研究	大森拓哉ゼミ
大町 大	S	観光地のイメージ調査	大森拓哉ゼミ
福田みずき	S	キャラクターの好みについて	大森拓哉ゼミ
山崎 博満	M	日本大好きプロジェクト N班	村山貞幸ゼミ
永松ひかる	M	オリンピックとおもてなし ～日本のおもてなしは外国人に歓迎されるのか～	杉田文章ゼミ
吉田健太郎	M	POSデータをもとに利益拡大を図るには～X企業の場合～	今泉 忠ゼミ
保園 裕騎	M	子どもと社会	杉田文章ゼミ
油井 貴志	M	人間には自然が必要か	杉田文章ゼミ
服部 敦	S	テレバシーは存在するか	大森拓哉ゼミ
加茂 諒平	S	先入観は味覚に影響を与えるか	大森拓哉ゼミ
熊崎 文哉	S	検索誘導忘却の実験	大森拓哉ゼミ
大沢瑠羽希	S	記憶における思い込みの実験	大森拓哉ゼミ
前田 佑樹	S	記憶できる数の限界	大森拓哉ゼミ
岡部 綾菜	S	日本経済とリップカラー	諸橋正幸ゼミ
石田 直己	S	観光地に来る外国人	諸橋正幸ゼミ
教室 201			
宮崎 菜々	L	大学生の講義における着席位置と学習意欲、単位数の関連性	齋藤 S 裕美ゼミ
武智 駿秀	M	企業訪問インタビュー	久恒啓一ゼミ
長谷川 徹	M	カジノ法案について考える	バトルゼミ
三好 瑛大	M	未病ビジネスについて	金 美徳ゼミ
鈴木 舜	M	起きたい時間に眠りを浅くすることによる快適な目覚めの提供	出原至道ゼミ
植山 聡	M	Android 端末と TECHTILE Toolkit を用いた車の振動 感覚の再現	出原至道ゼミ
太田 諭志	S	声質や話し方、文章表記による商品価値の変動についての研究	大森拓哉ゼミ
荻原 佑輔	S	睡眠による人体の影響	大森拓哉ゼミ
猪野 慎	S	ネットワークと性格の関連性について	大森拓哉ゼミ
中村 圭佑	S	無意識に真ん中を選ぶ!? 真ん中効果の実験	大森拓哉ゼミ
澁谷 元樹	L	イスラム国とイスラム社会	石川晴子ゼミ
荒木 健太	M	クライアントサイドスクリプトを利用した料理レシピ 人数変更システム	出原至道ゼミ
大澤 薫平	M	コーチングの応用に向かって	飯田健雄ゼミ
市川 理子	M	子どもの体力低下問題に関する一考察	杉田文章ゼミ
小山将太郎	M	国内での e-sports の問題、改善方法について	杉田文章ゼミ
高橋 隼平	S	朝食の必要性について	大森拓哉ゼミ
丹治 悠人	S	心理的時間の変動条件の実験	大森拓哉ゼミ
野上 英樹	S	チェンジ・ブラインドネス	大森拓哉ゼミ
荒井 大輔	S	日本大好きプロジェクト J班	村山貞幸ゼミ
小谷 野菜	S	人の性格とお金の使い道	大森拓哉ゼミ

教室 211			
小西真奈美	L	日本大好きプロジェクト P班	村山貞幸ゼミ
吉田 剛司	M	メコン川経済流域圏の展望と日本企業の可能性	金 美徳ゼミ
前田 夏輝	M	中国の少子高齢化問題	バトルゼミ
高橋 健太	M	短所を長所に言い換える	諸橋正幸ゼミ
三代ひろな	M	アミューズのアジア戦略	金 美徳ゼミ
川上 健治	M	POS データを元にしたネット店舗とリアル店舗の特徴 の違い ～X企業の場合～	今泉 忠ゼミ
吉井 達哉	M	久恒ゼミ活動内容	久恒啓一ゼミ
小野 真輝	S	ドイツの中小企業のグローバル戦略	金 美徳ゼミ
水口 輝	S	中国・ベトナム経済連携の現状と展望	金 美徳ゼミ
井上 真由	S	モチベーションを上げる方法	大森拓哉ゼミ
黒柳 淑雅	S	赤色による影響	大森拓哉ゼミ
及川 直総	S	印象の与え方	大森拓哉ゼミ
高市 聖也	M	数字にはなぜ人々を動かす力があるのか	今泉 忠ゼミ
渡邊 愛美	M	twitter に自己投影する若者の心理	杉田文章ゼミ
川口 達也	M	タブレットで簡単にフットサルの試合のシュートの データを記録するアプリケーション	出原至道ゼミ
牧野 紗英	M	日本大好きプロジェクト 東京ミッドタウン班	村山貞幸ゼミ
中井 響	M	2014年 多摩大学 Presents フットサル教室 報告	杉田文章ゼミ
池田 周平	S	責任感の分散 (傍観者効果)	大森拓哉ゼミ
見付 昂平	S	ウェブページにおける閲覧者の傾向	大森拓哉ゼミ
竹中 尚樹	S	企業ロゴ・マークにおけるイメージ調査	大森拓哉ゼミ
五十嵐まや	S	職業に対するイメージ調査	大森拓哉ゼミ
河野 純一	S	漫画、アニメにおける心理状況の変化	大森拓哉ゼミ
教室 212			
中通 壮太	L	「ロシア昔話集」と「ブラック・ジャック」の比較	諸橋正幸ゼミ
豆生田泰樹	M	中小企業のアジア新興国戦略	金 美徳ゼミ
長谷川宗真	M	CM (コマーシャルメッセージ) の研究	諸橋正幸ゼミ
高橋 翔太	M	中国の大気汚染と日本のビジネスチャンスについて	バトルゼミ
春山 秀斗	M	多摩市と東村山市のコンビニ競合比較	諸橋正幸ゼミ
高木 一樹	M	新聞各社の記事の扱いの違い	諸橋正幸ゼミ
佐藤 建吾	M	スポーツゴミ拾い	久恒啓一ゼミ
手塚 雄大	M	個人のラーメンの評価モデルの推定による好みのラ メンが特定できるサイト	出原至道ゼミ
島津 陽行	S	女性の勝負下着による高揚感の実験	大森拓哉ゼミ
鳥海 勇貴	S	違法ダウンロードと今後の課題	大森拓哉ゼミ
湯澤 健太	S	色彩心理学	大森拓哉ゼミ
米倉 大泰	M	日本大好きプロジェクト 増上寺班	村山貞幸ゼミ
村木 優子	M	飲食店の利益拡大新戦略	今泉 忠ゼミ
正地 健太	M	レジャーとしてのバイクの認識の考察	杉田文章ゼミ
寒河江佑太	M	日本のスポーツのあり方	杉田文章ゼミ
串田 拓海	S	コントラスト効果	大森拓哉ゼミ
山本 大貴	S	スマートフォンゲームアプリにおける課金システムの 可能性	大森拓哉ゼミ
雨笠正太郎	S	音楽聴取後の多面的感情状態尺度	大森拓哉ゼミ
佐々木拓也	S	日本大好きプロジェクト ライズ班	村山貞幸ゼミ
秋本 理沙	S	心理的財布に対する印象の実験	大森拓哉ゼミ



梅澤佳子ゼミ 第1回まちづくりコンペティションで最優秀賞・奨励賞を受賞

梅澤佳子ゼミでは、2・3・4年生30名が6つのプロジェクトチームを作り、多摩地域の課題解決のための企画提案を行い、行政、地域団体、企業と連携して活動しています。2014年12月20日、明星大学にて行われた「第1回まちづくりコンペティション2014」（主催：公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩/後援：東京市町村自治調査会）本選で、梅澤ゼミのプロジェクトチーム「諏訪小学校と地域の連携づくり」が最優秀賞、「みどりを通じて世代を繋ぐグリーンライフ・プロジェクト」が奨励賞を受賞しました。「まちづくりコンペ」は11月8日に予選（16団体参加）が行われ、選出された上位7団体（梅澤ゼミ2団体）が本選に参加しています。審査ではビジネスモデルの普及可能性、地域活性化の具体的効果、プレゼンテーションの表現力などについて評価されました。細野助博審査委員長は、「まちづくりはエンドレス。大きなビジョン、ロジック、戦略をもって取り組んでほしい」と総括しました。



村山貞幸ゼミ 日本大好きプロジェクトが、東京ミッドタウンのホスピタリティ大賞を受賞

2014年12月2日、村山貞幸ゼミ日本大好きプロジェクトが「東京ミッドタウン ホスピタリティ大賞」を受賞しました。東京ミッドタウン ホスピタリティ大賞とは、おもてなしの街である東京ミッドタウンに相応しい素晴らしい接客を行ったスタッフを表彰する制度です。

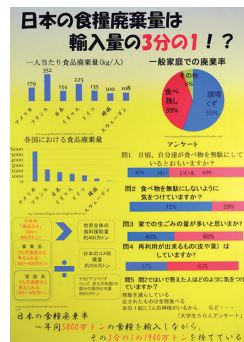
日本大好きプロジェクトは、2014年9月12日（金）から15日（月）にかけて、「和紙キャンドルガーデン-TOHOKU 2014-」を東京ミッドタウンにて行いました（主催：東京ミッドタウン 企画・運営：日本大好きプロジェクト）。イベント期間中のお客様への対応に対して、お客様から御礼メールが東京ミッドタウンに届いたことなどが高く評価されました。授賞式では、中村康浩代表取締役社長から表彰状、賞品、大きな花束が手渡され、「お褒めのメールは、お客様が余程伝えたいと思わない限り送られてこないで、それ位感謝の気持ちが大きかった証拠」といった趣旨のお言葉をいただきました。



大森拓哉ゼミ 第62回東京都統計グラフコンクール パソコン統計グラフの部 佳作を受賞

2014年11月、「第62回東京都統計グラフコンクール パソコン統計グラフの部」にて、大森拓哉ゼミ3年生西村蘭さん、長門有紗さん、黒柳淑雅さんの共同作品が佳作を受賞しました。

東京都統計グラフコンクールは、統計知識の普及向上と統計の表現技術の研鑽に資することを目的として、都内の児童、生徒、学生及び一般社会人を対象に毎年実施されています。今年度は、作品数994点（総勢1,178名）の応募がありました。『パソコン統計グラフの部』では、①統計データを正しく理解し、グラフ化することによってデータのもつ事象が理解されやすくなるよう、工夫されているか。②訴えたい主題が的確にグラフに表れているか。また、主題は斬新で興味を喚起するものであるか。③パソコンの機能を十分に活用したものであるか。という審査基準のもと、一次・二次・本審査（最終審査）を経ての受賞となりました。

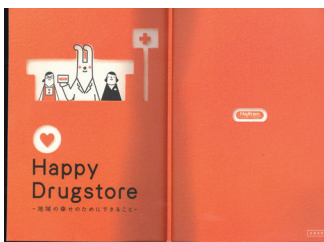


中村その子ゼミ ハピコムアイデア募集コンテスト～地域の幸せのためにできること～入選

中村その子ゼミ3年生 狩野竜征さんが「ハピコムアイデア募集コンテスト～地域の幸せのためにできること～」で入選しました。ハピコムメンバー企業の全店舗を対象とし、ドラッグストアが地域のお店として街やお客様に何ができるかについてアイデアを募集するもので、選考基準は「幸せ感」「発見力」「実現力」の3つの視点からとなります。

会社名「ツルハドラッグ」にかけて、「ツルハ千年、亀は万年 ツルハ料理で長生き」というキャッチコピーとともに健康料理教室のアイデアを提案し、全国ベスト20に入り、優秀アイデアを集めた1冊の本に載りました。

中村その子ゼミでは、ゼミでの研究テーマに関連の深いこのようなコンテストに自分から積極的に応募することもゼミ活動の一つと位置付けており、研究成果を社会に発信する重要な場であると考えています。



経営情報学部 2014 年度春学期 成績優秀学生賞 表彰者

2014年11月27日、「2014年度春学期 成績優秀学生賞」の表彰式を実施しました。成績優秀学生賞は4年次を除いた各学年の学生で、各学期の評定平均（GPA）上位20名が対象となります。また、成績優秀学生賞の対象者には成績優秀者奨学金を付与します。これらの学生に対しては、久恒啓一学部長から表彰と、更に勉学に励み充実した学生生活を送ることを期待するとの激励の言葉がありました。

区分	奨学金支給額	奨学生数	選考方法
1	350,000円 (当学期分の授業料)	1年次から3年次の各学期1名	学期毎、学年別成績が上位の者から順に区分1及び区分2の奨学生候補者を選考
2	50,000円	1年次から3年次の各学期20名以内	

■ 1年次

・区分1

学生氏名
榎本 結香

・区分2

学生氏名
赤坂 英紀
井浦 竜
市村 侑己
上杉 壽慶
大野 龍二
黒田 裕也

合屋 有喜穂
芝原 諒亮
島本 海央
下野 咲子
杉浦 那由多
高橋 慶
富田 将樹
内藤 賢汰
中村 巧人
根釜 銀
濱田 龍
藤田 裕介
藤田 侑也

■ 2年次

・区分1

学生氏名
及川 美穂

・区分2

学生氏名
伊藤 捺夢
井上 滉大
井上 路華
江川 知秀
大貫 瑠奈
岡部 昌

奥村 亜瑞美
楠本 和哉
木暮 奎太
永井 惇
長瀬 拓也
永野 文弥
西澤 慶人
真野 和哉
水口 輝
宮崎 遥子
村木 一美
渡邊 十夢
渡辺 結南

■ 3年次

・区分1

学生氏名
鈴木 舜

・区分2

学生氏名
居城 菜摘
有城 孝賢
大山 茜
岡本 唯
勝山 義弘
塩原 志織

杉山 友哉
瀧口 遥
長門 有紗
橋本 由樹
服部 頌子
春山 秀斗
藤間 翔
松浦 克介
三代 ひろな
山崎 眞理
吉野 翔
米倉 聡之介
渡辺 和也



2014年度春学期成績優秀学生賞対象者・1年



2014年度春学期成績優秀学生賞対象者・2年



2014年度春学期成績優秀学生賞対象者・3年

警視庁多摩中央警察署及び多摩稲城交通安全協会から感謝状

警視庁多摩中央警察署及び多摩稲城交通安全協会から、多摩大学の交通事故防止の取り組みについて感謝状が贈られました。多摩大学では多摩中央警察署と協力し、春学期に1年次生全員を対象とした自転車安全セミナー及びバイク通学者を対象とした交通安全講習会を実施しています。また、秋学期にはバイク通学者を対象とした交通安全セミナーを複数回実施しています。多摩大学では、引き続き教職員一体となって学生のバイク運転マナーの向上や交通事故防止に努めます。



多摩大学フットサル部 東京都大学1部リーグ優勝!!

多摩大学フットサル部が、東京都大学フットサルリーグ1部リーグで初優勝しました。第12節最終戦は2015年2月28日多摩大学で行われ、9対0で東京経済大学 Bruja に圧勝、創部3年目にして8勝1引き分けという無敗の快挙を成し遂げました。

キャプテン 宮永 崇史さん (3年)「優勝できたのは、知識を与えてくれた監督の存在と、ハードワークを毎日一所懸命頑張ってきた皆の努力があったからだと思います。今年度キャプテンを任せられ、いつも意識していたことは縁の下の力持ちになって献身的にチームを支え、いかに選手たちを輝かせるかということでした。目標は東京都で一番であり続けること、そして日本一を達成することです」

福角 有紘 監督「学生たちは主体性を持って目標に向い、日々ハードなトレーニングを積み重ね、また多摩大学に関係するすべての人々がフットサル部という新しいチャレンジを応援してくれました。これらがあったから東京都で一番になることができたのだと思います。学生たちに常に言っていることは、チームの方針「オフザピッチ」。ピッチの外でも挨拶、時間管理、身だしなみに気を配り、応援してくれる人たちに感謝の気持ちを持つこと。今後の目標は関東で上位+日本一。そして卒業後も、世界で活躍できる主体性を持ったトータルで「オフザピッチ」日本一の人材をフットサル部から輩出することです」

顧問 杉田 文章 教授「3年間、毎日朝から手を動かさずに積み上げてきたものが、結果として出たのだと強く思います。才能ではなく努力で頑張ってきたチーム。学生たちには、「これは次のもっと大きなジャンプアップのためのステップだから、勝利を自信に次へのエネルギーにしてほしい」と伝えたい。開学以来初の体育会運動部が創設され、大学の雰囲気が変わりました。彼らが頑張っていることは、学生全体が頑張っていることの象徴です。忍耐と工夫と瞬時の決断力で勝利するフットサル部は、大学の在り方を象徴していると考えています。そういった自負と責任感をしっかり受け止めて、これからもさらに前進して欲しいと思います。」



選手、監督、多摩大応援団ともに優勝を喜ぶ

第3回多摩「志企業」探検バスツアー報告

2014年11月14日、多摩大学就職委員会主催、多摩信用金庫様ご協力の下、第3回多摩「志企業」探検バスツアーを実施しました。多摩地域には優良かつ採用意欲の高い中堅・中小企業が多くあります。本企画では、その仕事の現場を自分の目で見、そこで働く社会人と直接触れ合うことにより、「社会に出て働くということの意味」を体感するとともに、「中堅・中小企業の魅力と可能性」に気づききっかけとなることを目的としています。

3年目となる今回は、株式会社テイルウィンドシステム様 [IT:立川市]、市村酸素株式会社様 [高圧ガス販売:立川市(訪問は羽村市)]、エーアンドエー株式会社様 [金属樹脂加工:西多摩郡日の出町]の3社を訪問し、経営情報学部3年生14名が参加しました。

訪問先では、社長講話、会社説明、社員の皆様とのグループディスカッション、オフィス・工場・施設見学などの機会を設けていただきました。

学生からは、「就職活動を行うにあたって、企業側がどんな学生を求めているのか」といった点で大いに参考になった。企業の

方々と触れ合い、業界研究をしている様は、さながらインターシップを行っているようであり、貴重な体験であった。「想像していた部分と現実の大きな違いを知ることができたのが一番大きな収穫だと感じる」「様々な業界の企業を見ることができたので、就職活動前の業界研究として役に立った」「働くことがどのようなものか少しイメージできた。どのような仕事でも、その仕事を嫌いだ、苦手だと思うのではなく、好きになるにはどのように仕事をしていくのか考えていくことが大事だと思った」(要約・抜粋)などの感想がありました。



株式会社テイルウィンドシステム様にて、



市村酸素株式会社様にて、工場見学生員の方とのディスカッションの様子

第6回多摩グローバル人材像創造講演会「グローバル時代のテーマパーク経営戦略」

2014年12月5日、杉崎聡紀さんを招いて、第6回多摩グローバル人材像創造講演会「グローバル時代のテーマパーク経営戦略」が行われました。杉崎さんは2000年に多摩大学経営情報学部を卒業し、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン®を運営する株式会社ユニー・エス・ジェイに入社しました。社内では清掃部門の立ち上げ、アトラクションのスーパーバイザー、エンタランスのマネージャー、マーケティングなどの様々な部門の仕事に関わり、現在はオペレーション本部ビジネスプランニングアシスタントマネージャーとして活躍しています

杉崎さんがテーマパーク経営に興味を持つきっかけとなったのは、中学生の時に読んだ1冊のテーマパークビジネス書でした。レジャーについて専門的に学ぶために多摩大学に入学し杉田文章ゼミに所属、学生時代にはフロリダのユニバーサル・オーランド・リゾートも頻りに訪れました。「目的を持って行動する

ことはとても重要なこと。テーマパークで働くことを目指して、軸がぶれずに前に進んでいったことが良かった」と話し、大学では「起業家精神を持って、自分から行動しなさい」とよく言われたそうです。「人の気持ちができる人になる。今できることに全力で取り組む。多摩大で情報系を学ぶことは強み。一人ひとは素晴らしいものを持っているはず。人に負けない何かを持ってほしい」と学生たちに語りかけました。後半の質疑応答も活発に行われ、学生たちは多くを学び、有意義な時間を過ごすことができました。



杉崎聡紀さん



熱心に聞き入る学生たち

経営情報学部後援会 就職セミナー 報告

最近の学生の特徴、就職活動への取り組み方などを講演

2015年3月1日多摩キャンパスにて「経営情報学部後援会 就職セミナー」が開催され、122組163名の保護者の皆様にご出席されました。始めに後援会会長の米倉裕之様よりご挨拶があり、第1部「就職セミナー」、第2部「ゼミ別懇談会」が行われました。

■ 第1部 就職セミナー

最初に久恒啓一 経営情報学部長より、創立25周年事業報告、多摩大学の就職状況、新規取り組みなどの説明がありました。

1. 講演「イマドキの大学生との接し方」
大森拓哉 経営情報学部教授
2. 就職セミナー(就職委員による説明)
 - ①「キャリア教育・キャリア支援の新たな取り組みについて」
杉田文章 経営情報学部教授

②「最新! 就活スケジュールの実態と就活準備」

浜田正幸 経営情報学部教授

■ 第2部 ゼミ別懇談会(各教室)・個別相談会(事務局)

保護者の皆様とゼミ担当教員が、ご家庭と大学での学生たちの様子を情報交換したり、就職活動における質疑応答を行った。和やかな雰囲気での交流が行われました。



熱心に聞き入る保護者の皆様



担当教員がゼミの取り組みを説明



世界から日本を見直すことで、国際社会で果たすべき日本の役割が見えてきます。異なる文化や価値に触れ、リアルなグローバル社会を体験する事を目的に、経営情報学部では海外留学制度として短期・長期留学、インターンシッププログラムを用意しています。条件を満たせば、単位互換や海外留学奨学金・補助金の支給を受けることができます。

■留学プログラム

1週間以上3ヶ月未満の短期留学と3ヶ月以上の長期留学があります。1ヶ月の留学には原則4単位、6ヶ月の留学には原則16単位を認定します。

■海外留学奨学金

区分	1	2	3
奨学生数	短期留学生 5名以内	長期留学生 5名以内	海外インターンシップ 6名以内
支給額	20万円以内	60万円以内	5万円又は10万円
支給条件	① 長期留学は在学期間中に1回、短期留学は毎年度に1回まで。 ② 海外インターンシップは在学期間中に1回まで。 ③ 履修を行うこと。 ④ 奨学金は派遣に先立って支給されるが、受給者がプログラムの単位認定を得ることが出来ない場合、奨学金の一部或いは全額の返還を求められることがある。 ⑤ 短期留学は1週間以上3ヶ月未満とし、長期留学は3ヶ月以上とする。 ⑥ 海外インターンシップの実習期間は2週間以上とする。		
支給方法	現金又は現金振込で支給する。		

■補助金

支給対象者	10名程度 (但し、上記海外留学奨学金を支給された者は対象外とする)
補助金額	奨学金の金額以内で支給 *海外留学奨学金との併用できません。
支給条件	原則として海外留学奨学金に準じます。

留学説明会：4月と9月に開催

* T-NEXTにてお知らせします

【相談・問い合わせ】多摩キャンパス 学生課国際交流担当

協定校

学部	国	協定先名称
経営情報学部	中国	天津財経大学
		新疆財経大学
	韓国	漢陽（ハニャン）大学
		アジアサイエンスパーク協会
		東明（トンミョン）大学
		淑明（スンミョン）女子大学
東国（トング）大学 慶州キャンパス		
台湾	開南大学	
グローバルスタディーズ学部	フランス	ユーシーオーラバル エイジア
	オーストラリア	ロイヤルメルボルン工科大学
	ドイツ	ブレーメン州立経済工科大学
	アメリカ	レイクランド大学
		バルドスタ州立大学
	カナダ	アルゴマ大学
		ウィニペグ大学
	シンガポール	ナンヤンポリテクニク
	マレーシア	テイラーズ大学
	台湾	国立暨南国際大学
マカオ	マカオ工科大学	

提携校（留学・インターンシップ派遣先）

学部	国	提携先名称
経営情報学部	オーストラリア	サンパシフィックカレッジ
		ボンド大学
	アメリカ・カナダ	インターンシップ:プリズベン国際空港インフォメーションセンター、外資大手高級ホテル、IT関連企業、アートギャラリー、カフェ、デイケアセンター など
	オーストラリア・シンガポール	モナッシュ大学
グローバルスタディーズ学部	オーストラリア	ロイヤルメルボルン工科大学 J-SHINE（小学校英語指導者資格）
	ニュージーランド	クライストチャーチ工科大学
	アメリカ ハワイ	ハワイ大学マノア校
	カナダ	ビクトリア大学
		バンクーバーアイランド大学
	アメリカ	UCLA アメリカラングエージセンター
	インド	インドコミュニティサービス
	台湾	台湾コミュニティサービス
イギリス	シェフィールド大学	

*2014年度の実績であり、2015年度以降は変更になる可能性があります。

News

「第3回帝塚山大学 研究・実践学生発表祭」にインターゼミ多摩学班と酒井ゼミが参加

2015年2月21日、帝塚山大学（奈良県）東生駒キャンパスにておこなわれた「第3回帝塚山大学 研究・実践学生発表祭」に、インターゼミ多摩学班（担当教員：奥山雅之 准教授、荻野博司 客員教授）と酒井ゼミ（酒井麻衣子 准教授）が参加しました。

多摩大学と帝塚山大学は2010年11月、学術交流に関する包括協定を締結し2012年度よりそれぞれの大学で行われる学生の研究発表祭に参加をして交流を深めています。

招待発表を含めて13の研究発表が行われました。今回は、地域に根差した産学連携プロジェクトの発表が特徴的で、帝塚山大学と多摩大学は、地域はそれぞれでも、研究の方向性が一致している部分が多いことから、懇親会では双方の学生は和やかな中にも熱気のある交流を行いました。



「京王移動販売プロジェクト」
酒井麻衣子ゼミ



「2040年多摩の展望～50年に一度の交通革命をこえて～」インターゼミ多摩学班

〈グローバルスタディーズ学部 主催〉 多摩大学 藤沢市市民講座 2015 「藤沢市の観光振興を考える」開催

2015年2月22日藤沢商工会館ミナパークにて、グローバルスタディーズ学部 主催「藤沢市の観光振興を考える」藤沢市市民講座が開催されました。昨年度に引き続き今回で2回目となる市民講座に、約50名の方に参加していただきました。

藤沢市は江の島をはじめとする多くの観光資源を有する湘南の中核都市であり、国際的な観光都市として大きな可能性を秘めています。今回のセミナーでは、藤沢市の観光資源を再認識しながら、観光振興に役立つ問題提起型プレゼンテーションや、参加者の皆様とワークショップ形式での討議等をおこない、藤沢市の観光まちづくりを考えました。



安田震一グローバルスタディーズ学部長による挨拶



グローバルスタディーズ学部学生による発表

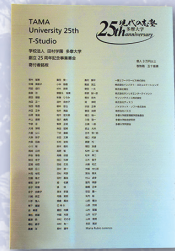
多摩大学創立 25 周年記念事業

多摩大学創立 25 周年記念事業募金へのご協力ありがとうございました。

3 万円以上のご寄付をいただいた方のお名前は寄付銘板に刻み、T-Studio1 階に掲示しています。

〈寄付者のお名前〉(敬称略・五十音順)

青木 智恵	梶原 征二	酒井 麻衣子	塚本 新直	堀口 邦彦	一富士フードサービス株式会社
秋場 美都子	片岡 裕司	櫻井 哲也	寺島 実郎	真壁 均	株式会社インパクト・コミュニケーションズ
阿部 成行	加藤 隆之	桜井 美国	徳倉 眞治	増田 浩通	株式会社植光
飯島 功	香取 良子	椎木 哲太郎	巴 特 尔	松林 正一郎	株式会社サンリオエンターテイメント
飯田 健雄	金子 邦博	塩沢 義男	豊田 裕貴	松本 秀二	サンリツテクノス株式会社
池田 正一	金子 由美子	志賀 敏宏	中庭 光彦	三木 智子	株式会社ディスコ
池田 剛透	川崎 恭正	繁原 正明	中村 その子	水嶋 和之	パイオネット・ソフト株式会社
井田 正幸	川手 雅人	柴田 哲朗	中村 有一	光國 光七郎	株式会社パスコ
出原 至道	鴨下 重雄	下井 直毅	長村 講平	宮地 隆夫	多摩大学経営情報学部後援会
井上 宣親	金 美德	杉田 文章	難波 茂之	村山 貞幸	多摩大学総合研究所
今泉 忠	清松 敏雄	杉村 定則	野田 一夫	望月 照彦	多摩大学同窓会
大浦 芳明	國津 恭	鈴木 信夫	萩原 誠一郎	諸橋 正幸	
大星 公二	久保田 貴文	高野 智	橋本 忠夫	安田 震一	
大森 映子	樽松 綾子	高橋 政雄	畑 伸明	矢内 彰	
大森 拓哉	黒瀬 洋	田口 和興	浜田 正幸	山田 豊治	
小川 敏	桑田 賢一	田坂 広志	春田 尚徳	山原 克明	
奥山 雅之	小林 敏信	田中 順一	樋口 裕一	山村 智直	
尾崎 広明	小林 英夫	田村 邦彦	久恒 啓一	山本 紀子	
押金 章悟	材木 辰英	田村 嘉浩	広瀬 一郎	山本 泰男	
開沼 佳子	齋藤 S. 裕美	趙 佑鎮	武士 光夫	吉武 篤史	
笠間 彬臣	彩藤 ひろみ	張 琪	古木 愨一郎	Maria Rubio Lorenzo	



創立 25 周年記念事業募金寄付銘板

平成 27 (2015) 年度 春学期 多摩大学 T-Studio 公開講座 一覧

多摩グローバル講座

回数	日付	担当講師	タイトル
第 1 回	5 月 7 日	諸橋 正幸 教授	ビッグデータと地域活性化
第 2 回	5 月 14 日	小林 英夫 准教授	60 代からの会社の創り方
第 3 回	6 月 4 日	松本 祐一 准教授	シンプルストラテジー ～「失敗」を活用する事業構想の新しい手法～
第 4 回	6 月 11 日	志賀 敏宏 教授	経営も塞翁が馬? 一運をつかむ経営とは
第 5 回	7 月 2 日	奥山 雅之 准教授	グローバルビジネスの夜明け ～地域ビジネスからグローバルビジネスへ～
第 6 回	7 月 9 日	浜田 正幸 教授	高齢化社会における幸福な人生を考える

多摩 ICT 講座

回数	日付	担当講師	タイトル
第 1 回	4 月 16 日	久保田 貴文 准教授	スマートフォン活用術 初級編
第 2 回	5 月 21 日	出原 至道 教授	世界に挑戦! コンピュータを使った不思議な体験
第 3 回	6 月 18 日	彩藤 ひろみ 教授	バーチャル遊園地体験

多摩教養講座

回数	日付	担当講師	タイトル
第 1 回	4 月 23 日	趙 佑鎮 教授	韓国語を学ぼう!
第 2 回	5 月 28 日	巴 特 尔 准教授	中国語を学ぼう!
第 3 回	6 月 25 日	金魚 伸之 講師	株式会社ファンケルヘルスサイエンス セミナー 健康寿命に注目! 「健康セミナー」

※講座内容は変更する場合がございますのでご了承下さい。【詳細・受講申込】多摩大学 HP <http://www.tama.ac.jp/>